

DOSHISHA

sutto

着脱ハンドルフライパン 取扱説明書

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この製品は、ご家庭での調理用です。火力は「弱火」～「中火」以下でご使用ください。

正しく安全にご使用いただくために、この説明書(裏面にも記載あり)をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

本製品は、電磁調理器(IHクッキングヒーター)、ガス火、ハロゲンヒーター、エンクロヒーター、ラジエントヒーター、シーズヒーターに対応しています。

また、とくに電磁調理器(IHクッキングヒーター)については、対応する製品と対応しない製品がございますので、ご注意ください。電磁調理器の取扱説明書も合わせて必ずご確認ください。

※本取扱説明書では、ふっ素樹脂塗膜加工、ふっ素樹脂コーティングを「ふっ素コーティング」と表現しています。

IH対応

ガス

ハロゲン

エンクロ

ラジエント

シーズ

※¹
(電気)
オーブン

※²
電子
レンジ

食器用
乾燥機

※³
食器用
洗浄機

※1 ※2 ※3 フライパンのみ可能

ご使用の前に

- はじめてご使用になる前に、本体の変形やゆがみや専用ハンドルにぐらつきやひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。また、食器用中性洗剤でよく洗い、乾かしたあと、薄く油をひいてから調理してください。
- 本製品は一般家庭でご使用いただくためのものです。業務用としての使用はしないでください。また、一般家庭用の200V熱源に使用できますが、レストランなどの業務用熱源で高出力タイプのものでご使用になると、温度が上がり過ぎることで貼り底面が変形したり、ふっ素コーティングが傷んでしまいますので、使用しないでください。
- ご使用前には必ず製品に異常がないか、確認をしてください。
- 「長くご愛用いただくために」を記載しております。内容をご確認のうえ、ご使用ください。



加熱中は火元をはなれないでください。火災の原因になります。

ご使用のコンロ・電磁調理器の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。コンロ・電磁調理器には標準、高火力で調理できるコンロ・電磁調理器があります。

標準火力コンロ・電磁調理器で調理する場合は、「弱火」～「中火」以下でご使用ください。

高火力コンロ・電磁調理器で調理する場合は必ず弱火で使用してください。過熱使用になり、製品劣化の原因になります。

製品について

- ゴトクと接する底部分は擦れるために塗装がはがれる場合がありますが、ご使用には問題ありません。
- 調味料や煮汁が吹きこぼれた場合は、すぐに拭き取ってください。そのままご使用になると、フライパンの外面に汚れが焼き付き、洗っても取れなくなる場合があります。
- 専用ハンドルの着脱により、外面塗装や内面ふっ素コーティングにキズがつくことがあります、フライパンの機能には影響ありません。

取扱上の注意 △注意 安全のために必ず守ってください

●絶対に空だきをしないでください。

本体が変形、または溶解し、ヤケドや火災の原因になります。また、ふっ素コーティングの損傷、専用ハンドルの損傷原因にもなります。

予熱の場合は、中火以下で加熱時間を30秒以内にしてください。長時間の予熱は空だきになります。なお、調理物の量が極端に少ない場合も空だきになります。



空だき
禁止

●火力は「弱火」～「中火」でご使用ください。

フライパンはコンロの中央に置いて、炎が貼り底面より大きくならないよう火力を調節してください。

2口以上のコンロをご使用の場合は、隣接するコンロの炎が専用ハンドルにあたらないよう、専用ハンドルの向きにご注意ください。炎が専用ハンドルにあたった状態でご使用になりますと、専用ハンドルが過熱されヤケドの原因になります。また、専用ハンドルの損傷により本体が脱落し、ヤケドやケガなどの事故の原因になります。



強火
禁止

●高いところから落とすなどの、急激な衝撃を与えないでください。

●ふっ素コーティングの表面で材料をきざんだりしないでください。

●長時間(一昼夜以上)または(一日以上)フライパンの中に料理を入れたまま放置しないでください。調理後はできるだけ早く他の容器に移してください。なお、ふっ素コーティングは食品衛生法に適合したものを使用していますので、万一にされても、吸収されず排泄されますので人体に害はありません。

●浸け置き洗いはしないでください。ふっ素コーティングの劣化の原因になります。

●内面のふっ素コーティングは消耗品です。使用を重ねるごとに劣化し、調理物がこびりつくようになることがありますので、強火や空だきは避け、火加減には十分注意してください。

●変色やキズつき、焦げつきはご使用の火力が強すぎるサインです。
火力を「弱火」～「中火」にしてご使用ください。

●フチまで水などを満たした状態で使用しないでください。

△注意 電磁調理器(IHクッキングヒーター)でのご使用について

●電磁調理器をご使用の際は、電磁調理器の取扱説明書に従って正しくご使用ください。

●電磁調理器を使用の場合は必ず火力(出力)を「弱火」～「中火」にしてご使用ください。

3kWは湯沸し専用となっており、火力(出力)が強すぎるため、温度が上がり過ぎることで貼り底面の変色や変形、焼け焦げや塗膜のはがれの原因になりますので、ご使用にならないでください。貼り底面が変形すると過熱防止センサーが正しく作動しなくなり、火災の恐れもあり危険です。



●電磁調理器の火力(出力)「弱火」～「中火」の範囲はメーカーにより異なります。強に近い中の火力(出力)でご使用されると、貼り底面の変色、変形、焼け焦げの原因になりますのでご注意ください。「中火」に設定していてもこびりついたり、こげつく場合は温度が上がり過ぎていますので「中弱火」以下に調整してください。

●電磁調理器は電源を入れると急激に加熱するため、少量の油での場合30秒以内で発火点に達します。少量の油で調理をする場合は、油温が上昇しすぎないよう、火力(出力)を「弱火」～「中火」でご使用ください。

●電磁調理器(IHクッキングヒーター)には、高出力なものがあり、中火(中出力)以下でご使用しているつもりでも、過熱・空だき状態になっている場合があります。その場合は、本体貼り底面がそり上がったり、本体内面のふっ素コーティングがはがれたり、本体外面の塗装が電磁調理器のトッププレートに付着するおそれがありますのでご注意ください。

●電磁調理器の円の中心からずらして使用しないでください。電磁調理器の過熱防止センサーが正しく作動しなくなります。

●電磁調理器とフライパンの底との間に汚れ・キズ防止シートを敷かないでください。電磁調理器の過熱防止センサーが正しく作動しなくなります。

- 電磁調理器によっては電源スイッチを入れた際に火力(出力)が「中火」よりも強い設定になる場合がありますので、火力(出力)を「弱火」～「中火」にしてご使用ください。

こんなときには・・・

- 電磁調理器で調理中に共振音(ブーン、ジーなど)が発生する場合がありますが、故障ではありません。置き直すと止まることがあります。

使用上ご注意いただきたいこと

- 調理中、調理後は金属部分だけでなく、専用ハンドルが熱くなっていることがあります。持ち運ぶ際は素手でさわらずミトンなどを使ってください。特に乳幼児の肌にふれないよう十分ご注意ください。

- 調理物の吹きこぼれでガスの火が消えることがありますので、火加減や調理物の量にご注意ください。



- コンロにのせる時、のせ方やゴトクの形状によっては本体が転倒することがありますので、安定した状態でご使用ください。

- ガスコンロを使用される場合、5本爪以下のゴトクでは不安定になる場合がありますので、6本爪以上のゴトクでご使用ください。

- ストーブの上や電子レンジなどでは絶対に使用しないでください。異常過熱などによるヤケドの危険があります。



- 専用ハンドルは使用により劣化します。変色やふくれ、焼け焦げ、ひび割れが生じることがあり、脱落によるヤケドやケガなど事故の原因になりますので、変色やふくれ、焼け焦げ、ひび割れなどが生じた場合にはご使用にならないでください。

- 天ぷらなどの揚げ物料理はしないでください。油を使う場合は、油の温度が200°C以上にならないようにしてください。



●オーブンを使用する際は、本体のみご使用ください。専用ハンドルや
サイズ兼用アルミふたは使用できません。

●オーブンを使用した調理の場合、**設定温度は220°C以下**でご使用ください。
多量の油や、油のみのオーブンの加熱はしないでください。

●アルミホイル、クッキングシートは使用しないでください。異常過熱により
表面の変色やふつ素コーティングの劣化につながります。

●ガス火の場合、炎の先がフライパンの底にふれる
かふれないか程度の火力でご使用し、炎が専用
ハンドルにあたらないようにしてください。



●ガス火の場合、フライパンをゴトク中心から外側にずらして置いて使用
しないでください。専用ハンドルが火に近づき破損するなど、故障の
原因になる恐れがあります。

長くお使いいただくために

- 調理の内容および調理器具の大きさにより、火力(出力)の調整をしてください。
ふつ素コーティングを長持ちさせるためにも「弱火」～「中火」以下の火力でご使用ください。
- ふつ素コーティングにキズがつきますので、**金属べらは使用しないでください。**
シリコーンべら、木や竹、プラスチック製などのものをご使用ください。
- 熱した本体に冷水をかけるなど、急激な温度変化を与えないでください。
本体が変形することがあります。
- 調理に際しては、ご使用ごとに**薄く油をひいて**調理して
いただくと、こびりつきにくさが一層長持ちします。

お手入れについて

- ご使用後、水またはお湯で洗い流してください。
その後、食器用中性洗剤をつけたスポンジでよく洗い、流水でよくすすいで水気をふき取り、乾燥させてください。その際、ガス器具などの調理器具で加熱しないでください。空だきになり危険です。**汚れが残ったままのご使用は、こげつきの原因となります。**
- お手入れの際、金属たわし、アルカリ性洗剤(漂白剤、食器用洗浄機洗剤など)、クレンザー・磨き粉はご使用にならないでください。
- 酸性またはアルカリ性のものの使用は避けてください。腐食を避けるために調理後は早めに洗って乾燥させてください。
- お手入れが不十分ですと、腐食や損傷の原因になります。
- 塩分や酸などを含んだ汚れが付いたまま放置したり、鉄などの異種金属と製品を接触させたまま放置したり、湿気の多い場所での保存はしないでください。腐食発生の原因となります。
- 重ねて保存される場合は重ねるものとの間にキッチンペーパーなどを挟んで保存してください。
本製品の内面ふっ素コーティング加工面に他の調理器物などを重ねて保存されるとふっ素コーティングがキズつく場合があります。
- 本体外面の焼き付け塗装が電磁調理器(IHクッキングヒーター)のトッププレートに付着した場合は、市販のメラミンスポンジやラップフィルムをまるめたものなどで擦って塗料を落としてください。

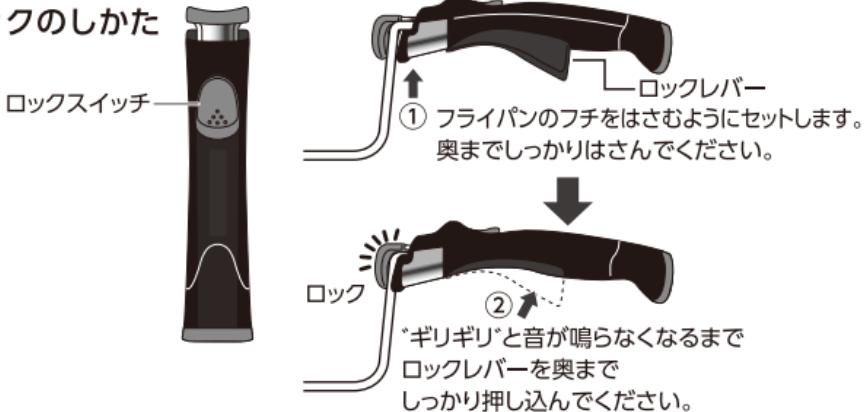
専用ハンドルの使用方法

※ご使用の前に必ず専用ハンドルだけで作動確認を行ってください。

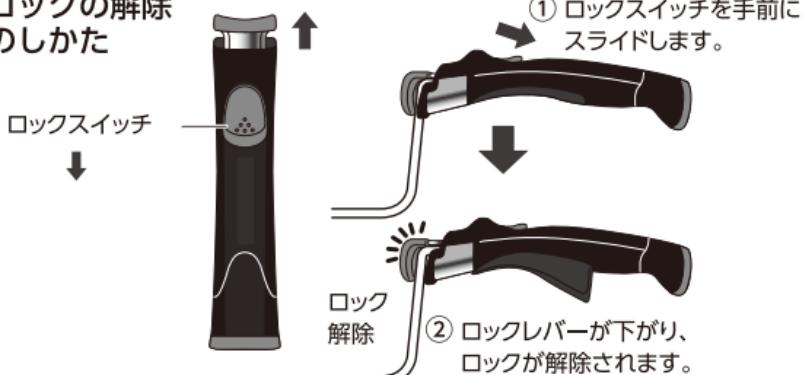
※必ず水平で安定の良いところでご使用ください。

※調理中や専用ハンドルを持ってフライパンを持ち運びする場合フライパンのフチに
しっかりと止まっているかご確認ください。

●ロックのしかた



●ロックの解除のしかた



専用ハンドルの使用方法

⚠ 取り付け時の注意

着脱仕様の専用ハンドルです。炒め料理などをする場合、フライパンを
壊ったり、揺らしたりすると専用ハンドルが外れる可能性がありますので、
しっかりロックされているかご確認の上ご使用ください。



フライパン —

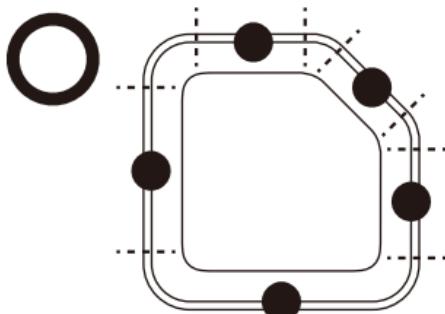
正しく取り付けら
れていることを
必ず確認してから
使用してください。



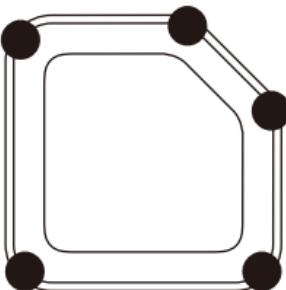
フライパン —

不適切な位置で固定すると
取り付けが不十分になり、
使用中に専用ハンドルが
脱落する恐れがあります。

専用ハンドルは下図のようにフライパンのふちが直線になっている部分に
取り付けができます。



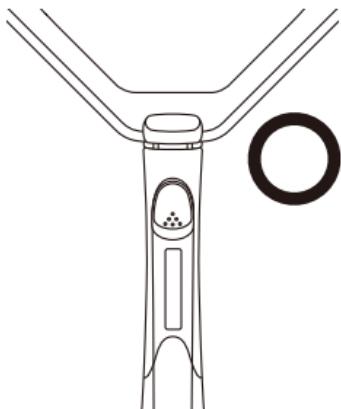
平面部中心に取り付けてください。



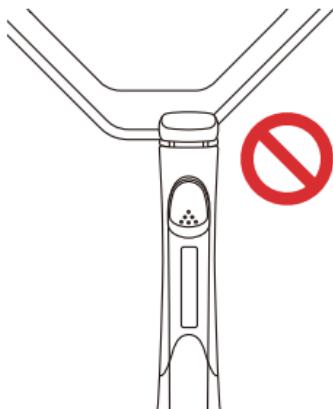
角部は取り付けできません。

専用ハンドルの使用方法

⚠ 取り付け位置の注意



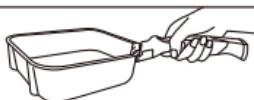
中央



右か左に寄っている

⚠ 注意 専用ハンドルの取扱上の注意

- フライパンには本製品の専用ハンドルをお使いください。それ以外での使用はしないでください。
- 専用ハンドルは必ずお使いください。また他のフライパンなどには使用しないでください。
- 専用ハンドルの着脱により、外面塗装や内面ふっ素コーティングにキズがつくことがあります、フライパンの機能には影響ありません。
- フライパンをはさむ際に指をはさまないようご注意ください。
- フライパンや専用ハンドルを高所より落下させたり衝撃を与えてしまい、変形が生じた場合は正常に使用できなくなる場合があります。この場合はご使用を控えてください。故障したままご使用になりますとヤケドなどの事故の恐れがあります。
- 加熱調理をする際、専用ハンドルが熱くなる場合があります。
- ガス火の場合、炎の先がフライパンの底にふれるかふれないか程度の火力でご使用し、炎が専用ハンドルにあたらないようにしてください。
- 強火は避けてください。専用ハンドルを装着したままでの強火により専用ハンドルが損傷し正常に使用できなくなったりフライパンを保持できなくなると落下やヤケドにつながる恐れがあります。また、専用ハンドルが焦げると強い刺激臭が出ます。
- 強火による専用ハンドルの損傷が著しい場合はご使用を控えてください。
- 専用ハンドルを取り付けた状態で持ち運びする場合は、ロックされたことを確認し、ロックレバーをしっかりと握ってください。脱落し、ヤケドやケガの恐れがあります。
- 長時間コンロの上で加熱調理する場合は専用ハンドルを外してご使用ください。専用ハンドルが損傷して正常に使用できなくなる恐れがあります。この際の取り外し、取付時にはフライパンが熱い場合がありますので十分ご注意ください。



⚠ 注意 専用ハンドルの取扱上の注意

- 専用ハンドルを浸け置き洗いしないでください。サビが発生し正常に使用できなくなる恐れがあります。
- オーブン、電子レンジでは使用しないでください。
- フライパンの中の料理が、長時間専用ハンドル先端のシリコーンゴムに接触していると、色移りの恐れがありますのでご注意ください。
- 先端のシリコーンゴム部分ははずさないでください。

専用ハンドルのお手入れ方法

- 本製品の丸洗いはしないでください。水が入り、動きが悪くなる場合があります。お手入れは水を含ませ、よく絞ったふきんなどで汚れを拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくい場合は、ふきんなどに薄めた食器用中性洗剤を含ませ、よく絞って汚れを拭き取ります。次によく絞ったふきんなどで水拭きし、最後に乾いたふきんで水気を拭き取ってください。
- つけ置き洗いや食器用乾燥機、食器用洗浄機には使用しないでください。

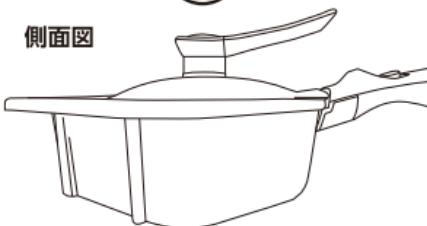
サイズ兼用アルミふたの使用について

●ふたのおき方

18cmフライパン



側面図



20cmフライパン



1番外側のくぼみを使用すると
専用ハンドルにふたが被さってしまう

サイズ兼用アルミふたの使用について

- 落としたり、ぶつけるなどの急激な衝撃を与えないでください。破損や変形の原因になります。
- 急激な温度変化を避けてください。
- 炎がフライパン貼り底面からはみ出さないよう火力の調整をしてください。
- 破損の原因になりますので、電子レンジ、オーブンでは使用しないでください。
- 乳幼児の手の届かない場所に保存してください。
- 取っ手がゆるんでいないか必ずご確認ください。ふたが脱落してケガやヤケドの原因になります。
- 使用直後のふたに冷水をかけるなど急激な温度変化を与えないでください。

●お手入れについて

- 金属部分に汚れなどが付着したまま放置すると、サビの原因になります。使用後は食器用中性洗剤をつけたやわらかいスポンジで汚れなどを洗い落とし、水気をよくふき取ってください。
- お手入れの際、スチールたわし、アルカリ性洗剤(漂白剤、食器用洗浄機洗剤など)、クレンザー・磨き粉はご使用にならないでください。
- つけ置き洗いや食器用乾燥機、食器用洗浄機には使用しないでください。
- 洗浄後は十分に乾燥させてから保存してください。

△ご注意

- 急激に蒸気が噴き上がる麺類や牛乳素材の調理の際は、吹きこぼれる場合がありますのでご注意ください。

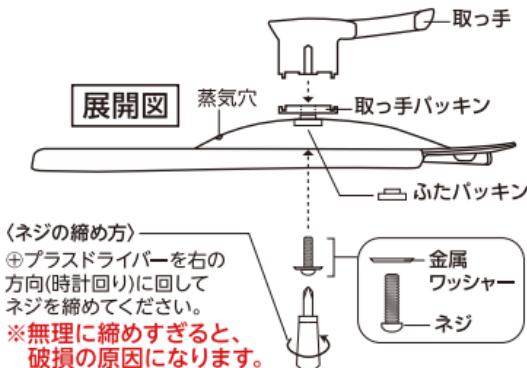
サイズ兼用アルミふたの使用について

●ご使用の前に

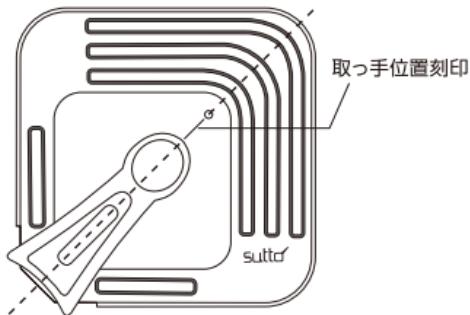
サイズ兼用アルミふたの取っ手は展開図のようにネジで締めています。取っ手とネジの間にはシリコーンのパッキンを取り付けていますので、取っ手を回そうとすると回りますが不具合ではありません。

ネジがカタカタとゆるんでいる場合は、〈ネジの締め方〉のようにネジを締めてください。

※ネジがゆるんでいるとふたが脱落してケガやヤケドの原因になります。



イラストを参考に取っ手とサイズ兼用アルミふたの取っ手位置刻印が直線上になるように使用してください。



サイズ兼用アルミふたの使用について

● サイズ兼用アルミふたの立て方



正しい立て方



誤った立て方

品質表示

《フライパン・ポット》

材料の種類

本 体：アルミニウム合金

貼り底：ステンレス鋼(クロム16%)

底の厚さ：[18cm]3.5mm(貼り底含む)

[20cm]3.5mm(貼り底含む)

表面加工

内 面：ふつ素樹脂塗膜加工

外 面：焼き付け塗装

寸法/満水容量

フライパン：18cmフライパン/2.2L

20cmフライパン/2.1L

《専用ハンドル》

材料の種類：フェノール樹脂、シリコーンゴム、

ステンレス鋼、ナイロン

《サイズ兼用アルミふた》

材料の種類

本 体：アルミニウム合金

取っ手：フェノール樹脂